

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	みんなで支えあう安心・安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成27～30年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>安心・安全に生活を送れることは、住みよい地域社会づくりを進める上で基本となるものであり、昨今の地震・台風等による自然災害を始め、原子力発電所に隣接する本市にとってはハード・ソフト両面から市民不安を解消するとともに、自助・共助の重要性を理解していただくことが喫緊の課題となっている。</p> <p>また、災害対策以外にも、少子高齢化やライフスタイルの変化等により、交通・医療などの基本的な生活基盤を維持・確保することが困難となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>異常気象の影響により、集中豪雨や台風などの自然災害が頻発する中、自助・共助の重要性を十分に踏まえた上で、気候変動に対応した災害に強いまちづくりを推進すべく、地域防災計画の見直しを進めるとともに、26年度に新たに土砂災害区域に指定された地域を反映したハザードマップを作成し、さらなる啓発に努める。</p> <p>また、中山間地域等の除雪体制の強化し、生活道路を確保するため、小型除雪機を配備するとともに、地域医療については、25年に設立した「舞鶴地域医療連携機構」を中心に、救急医療体制の強化並びに医師の確保対策などの充実を図る。</p>							
	総事業費（千円）	131,620	本年度事業費（千円）	32,905	交付金額（千円）	7,410		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
	防災体制強化事業	交付対象事業	地域防災計画見直し、ハザードマップの作成	原子力災害住民避難計画改正、土砂災害ハザードマップ作成（全20種類133地域、合計19800部）				
	生活路線除雪対策事業	交付対象事業	農山漁村集落の交通の確保（小型除雪機配備分）	除雪機等の購入（小型除雪機4台）				
	地域医療連携事業	交付対象事業	市内医療関係者の参画の下、連携強化事業、救急医療体制強化事業、医師確保対策事業、啓発・情報発信事業を実施	<p>(1) 連携強化事業 病院長連絡会議の開催（2回）、部会の開催（7回）、病院間等連携ネットワークシステムの運営、市内公的病院間循環バスの運行（利用人数3人）</p> <p>(2) 救急医療体制強化事業 市内公的3病院による休日救急診療を当番制で実施 診療科（内科、外科、小児科）、時間（休日の午前8時30分～翌日の午前8時30分）、実施日数（72日）、患者数（6,135人）</p> <p>(3) 医師確保対策事業 研修プログラム情報発信、指導医（若手医師）確保事業補助金他</p> <p>(4) 啓発・情報発信事業 機構ホームページの運営、広報紙（連携機構だより）の発行、医療機関紹介（お医者さんマップ）の作成、子どもの急病対処法リーフレットの作成、訪問歯科診療啓発チラシの作成</p>				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

市町村 実施事業	交通安全推進事業	関連事業	歩道の整備や交差点改良等の推進、ガードレール、区画線などの道路安全施設や、道路照明、交通安全灯の設置	女布七日市線 吉井線 朝来地区 潮路通線 東・中地区 西地区	道路改良工事 L=39.0m 用地費、不動産鑑定 ゾーン30交通安全施設整備 道路案内標識設置 区画線・防護柵・交通安全灯設置 区画線・防護柵・交通安全施設設置 等
	地域内道路整備事業	関連事業	緊急車両や福祉サービス車両が進入できるよう集落内道路の整備	御霊通線 中谷線 村中13号線 高野由里女布線 常木ノ下線	道路改良工事 L=289.0m 道路改良工事 L=80.0m 道路改良工事 L=19.2m 測量 L=550.0m 境界確定等 他
	防災行政無線(同報系)整備事業	関連事業	防災行政無線屋外拡声子局の拡充による地域防災力の向上	屋外拡声子局1局増設（多門院地区）	
	総合防災訓練実施事業	関連事業	地震を想定した総合防災訓練の実施	他機関や住民参加の総合防災訓練を実施（訓練参加者のべ681名）	
	舞鶴市休日急病診療所整備事業	関連事業	一次救急医療を確保するための休日急病診療所の整備	●施設概要 ・設置場所：舞鶴市字行永2260番地2 （舞鶴医療センター敷地内） ・敷地面積：560.15㎡ ・建物規模：鉄骨造・平屋建、床面積 265.67㎡ ●開設状況 ・開設日：平成27年10月25日 ・診療日：月2回（平成27年度実績11回） ・診療科目：内科 ・診療内容：一次救急 ・利用実績：患者数163人 1診療日あたり14.8人	
住民 協働 事業					
住民が 取り組む 事業					
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	緊急車両等の進入できない地域の解消 （平成31年度：5⇒0地区）		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	4地区
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	地域住民との協議が整い、道路改良事業を計画的に進めることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	自主防災組織率（平成30年度：80%）		成果指標の実績値 （平成28年5月31日時点）	68%
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	組織率自体は上がっていないが、新たに組織を結成しようという動きを何件か把握しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	歩道の整備延長 (平成31年度：87.2km)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	86.9km
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地域住民との協議が整い、歩道整備を計画的に進めることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標 ④	成果指標の目標数値	高潮対策の実施延長 (平成31年度：13.5km)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	11.7km
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	地域住民との協議等が難航し、計画的な実施に至らなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	市道等の計画的な整備により、歩道の整備や高潮対策は順調に進められている。その一方で救急自動車等の緊急車両や介護車両が全ての地域に侵入できるまでは至っておらず、目標達成まで、引き続き、地域住民と十分な協議が必要である。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	除雪機の配備や集落内道路の整備により、緊急車両や福祉サービス車両が安全に侵入できるような、また、地域住民が安心して居住できるような生活環境を整備することができた。さらには、ガードレール・区画線などの道路安全施設や交通安全灯の整備により、子ども・高齢者等の交通弱者や自転車が安心・安全かつ快適に通行できる環境整備に寄与することができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	地域防災計画の改正や土砂災害ハザードマップの作成をはじめとする防災体制の強化、並びに休日救急医療対策の実施により、京都府が目指す「福祉・医療の安心」及び「暮らしの安心」に寄与することができた。			
	住民の自治意識を高める成果	土砂災害ハザードマップ等の作成及び地域住民への配布により、改めて防災・減災意識の向上につながった。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果	休日における救急医療体制を確保することで、地域住民が医療不安を抱えることなく安心して生活できる環境づくりに寄与することができた。			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。